

令和6年度事業報告書

1)本部

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された後、8月に15名、11月から12月にかけて30名のクラスターが発生しました。

この度のクラスターに対しては、前回の経験を踏まえ迅速な対応を行う事ができました。

職員採用では、特別養護老人ホームの看護師を1名増員し4名体制となり看護体制の強化を図るとともに、人員配置基準による介護報酬減算のリスクにも対応できています。

また、介護員の欠員補充で特別養護老人ホームに1名、ケアハウスに1名職員を採用し、デイサービスにおいても看護師の欠員補充として1名採用しています。

今年度も、外国人留学生の受入れ施設として男性のミャンマー人を一人受け入れています。介護職員確保は、ハローワーク以外にも人材紹介業者も活用していますが、採用までつながらず日本人職員の確保が難しくなっています。しかし、外国人だけに頼るのではなく日本人採用には今後も力を入れていきます。

介護職員の人員確保と離職防止を最優先課題として、取り組んできましたが思うようにできていません。

近隣の高齢者入所施設が増えたことによる入所待機者の減少に対しての有効な対応が思いうようできておらず、特別養護老人ホームの稼働率が悪く、収益の悪化がみられました。

人材育成面については、外部研修とあわせて昨年度同様にWEB(インターネットを使用した閲覧システム)研修を継続し、ご利用者に安心安全で、信頼される施設となれるよう職員の質の向上を図るため、全職員に講義研修の機会を設けました。

休暇取得においては、有給休暇取得日数は、平均10日以上を取得できましたが毎年の付与日数分の消化を目指していきます。

社会福祉充実残額を活用し、主に外国人労働者に対する、国の補助金を利用した職員宿舎が10月31日に竣工し、現在4名のミャンマー人が居住しています。

今年度ホームページを刷新しました。今後は、ご利用者の家族や外部の方への情報発信を頻回に行えるようになり、当施設への関心が深まるものと思います。

令和6年度 主な事業実施状況報告

運営面	理事会3回(6月6日、1月20日、3月26日) 評議員会1回(6月24日) 監事監査 1回 (5月16日)
人材確保	3名
地域交流	コロナウィルス感染予防のため未実施
地域貢献	車椅子対応軽自動車及び車椅子無料貸出し、介護予防ふれあいデイサービス送迎

	支援、大町町地域ケアネットワーク会議参加、佐賀県地域包括ケア推進会議参加、大町町社協理事及び評議員、大町町地域包括支援センター運営委員、大町町入所判定委員、介護認定審査委員、佐賀県老人福祉施設協議会役員、佐賀県介護保険事業連合会理事、杵藤地区広域市町村組合地域密着型サービス運営委員、佐賀県在宅サポートセンター運営委員、大町町複合施設建設検討委員会、西九州大学短期大学部介護実習受け入れ、佐賀女子短期大学介護実習受け入れ	
広 報	デイサービス月例便り発行	
防火対策	昼間避難訓練実施	令和7年3月26日実施
	夜間避難訓練実施	令和6年10月25日
環境対策	非常放送設備保守	電気設備点検(月次点検実施)
	合併処理施設放流水透視度点検(月2回)	害虫駆除 年2回
	浄化槽検査及び清掃実施	園内草刈清掃実施 受水槽清掃
衛生対策	浄化槽法定検査(特養1回)	(有料1回)
	飲料水の水質検査実施(1回)	
	レジオネラ菌の定期検査(2回)	
	ヘアークャッチャーの洗浄殺菌消毒実施	
面 会	対面面会	
預り金管理	月毎に確認管理を行い4半期毎に実績を報告	
人材育成	内部研修 (感染症対策、虐待防止、事故防止、接遇、新人研修)	
	外部研修(延べ193名参加)	
	決算対策セミナー	3名
	新任職員研修	2名
	介護支援専門員専門課程Ⅰ研修	1名
	介護保険制度改正研修	3名
	サービスの質の向上 加算の重要性研修	10名
	報酬改定後の経営戦略(通所・居宅)	8名
	介護事業者と営業論 加算の重要性	8名
	佐賀県介護支援専門員協議会研究大会	3名
	介護職員等処遇改善加算解説セミナー	1名
	令和6年度佐賀県経営協セミナー前期	1名
	改定サービス別押さえておきたい必修ポイント	8名
	外国人留学生受け入れ説明会	1名
	業務改善への取り組み方	5名
	BCPの最終確認と研修訓練の実務	1名
	介護支援専門員専門課程Ⅱ研修	1名
	特定給食施設栄養管理従事者研修	1名
	軽費ケアハウス視察研修	1名
	九州老施協研究発表会	1名
	福祉機器展示会	3名

要介護認定調査員現任研修	1名
次世代部会・生活相談員連絡会全体研修	3名
在宅医療・介護多職種連携研修	1名
佐賀県通所介護部会セミナー	2名
大町町認知症多職種協働研修	3名
介護保険施設職員等研修	1名
新規認定調査員研修	1名
特養部会セミナー	4名
ミャンマー介護人材の地方定着支援研修	1名
養介護等施設従事者向け高齢者虐待に関する研修	4名
実務研修指導者研修会	2名
経営情報提出の義務化とやさしい生産性向上の進め方	5名
介護支援専門員更新研修会	1名
介護給付等データー分析研修	2名
県老協研究発表大会	5名
介護事業戦略セミナー	1名
県経営協セミナー	1名
令和6年度社会福祉法人会計実践的決算講習	4名
介護従事者向け透析研修	3名
全国老協戦略セミナー	1名
令和6年度経営セミナー	1名
看取り普及啓発事業公開講座	1名
九州老協施設長研修	1名
社会福祉法人役員等研修	1名
大町町成年後見人制度研修会	2名
介護現場における生産性向上推進フォーラム	3名
認知症とのコミュニケーション法ユマニチード2	20名
ケアマネージメント論1	1名
居宅ケアマネージャー実践力養成講座1	1名
居宅ケアマネージャー実践力養成講座2	1名
スーパービジョン1	1名
スーパービジョン2	1名
スーパービジョン3	1名
歯科医から学ぶ接触嚥下研修	1名
介護保険施設における安全対策強化研修	3名
新型コロナウイルス感染症5類になって変わる事研修	1名
脱水症をなくして無駄な入院を減らす	1名
看取りとは	1名

リスクマネジメントとは	1名
看取りケアの基本	1名
事故を未然に防ぐには	1名
死を直前にしたケアのポイント	1名
死について考える	1名
ターミナルケアとグリーフケア	1名
生の質と死の質	2名
リスクマネジメントの取り組み	24名
介護ロボット導入及び運用研修	1名
介護の基本を身につけるための集中講座	1名
介護従事者の接遇	1名
インフルエンザノ・ロウィルス対応	2名
虐待・不適切を防ぐ	1名
災害対応研修	1名
身体拘束防止の具体策	1名
アセスメントの目的	1名
対人トラブルの心理学	1名
クレーム・トラブル対応	1名

2) 特別養護老人ホームすみれ園

重点実施項目についての状況・結果報告

1. 日常生活の援助

現在、特養の新規入所対象は原則要介護3以上の要介護認定者となっており、自宅での生活が困難な中重度の要介護を支える施設としての役割を担っています。

近隣の居宅介護支援事業所、医療機関の地域連携室等に空床状況をお知らせする等利用者獲得を目指す一方で、町内には住宅型有料老人ホーム等高齢者の居住施設、介護施設が多く、重度化しても継続的に利用されることが多いため、入所待機者やショートステイの利用相談や申し込みは減少傾向にあります。加えて、医療機関からご紹介いただいても、当園の医療体制では対応が難しいケースや、深刻な介護職員不足があり、全てが受け入れられていない現状もあります。

今後は人員確保や勤務体制を見直す等の検討が必要な状況も出てきています。

要介護1、2の特例入所者は、1名と減少。昨年に比べると新型コロナウイルス罹患後の身体機能低下等入所者の重度化傾向にあり、令和7年3月末時点での要介護度平均値は、3.8となっています。

平均年齢は、89.7歳(前年度87.2歳)平均在籍月数は、入所者の入れ替わりが激しく1年間の入所者は28名、退所者22名となり、前年度より入所者10名増加。前年度同様入退所の入れ替わりが顕著でした。

稼働率では令和6年度末で、91.5%で、令和5年度末で88.7%でした。年度末では回復したものの、平均稼働率は84.3%とショートステイの空床利用等で賄う程度で十分な稼働には至りませんでした。

新規入所者は病院・療養病床からの入所が12名、特養のロングショートから10名、他福祉施設から6名、自宅からの入所が2名。令和7年3月末現在で、入所者の方の要介護度は要介護5の方が18.6%、要介護4の方が40.7%、要介護3の方が39.0%でした。平均在籍月数は、入所者の入れ替わりが多く、前年と同水準の3年6か月となっています。

(短期入所者数は別紙記載報告)…稼働率は、99.3%。昨年の利用率94.0%より増加となっております。平均年齢91.0歳、要介護度平均値は、2.8となっております。

2. 行事

行事を通して入居者へ適度な精神的刺激を受けていただくように努めました。

誕生会や季節の行事等の月間行事の取り組み、昨年度実施できなかったバスハイクは年2回実施することができました。

また、天候が良い日に園庭への散歩を行うことで気分転換を図りました。お楽しみ会やハロウィンパーティーを開催し、職員の出物やゲームなど楽しい時間を過ごしていただくよう立案し、実施しました。

多目的ホールで入居者がゆったりとした時間を過ごされ、食事前の口の体操や午後からの運動の取り組み、レクリエーション等も出来る範囲で取り組むことができました。

(各行事については別紙に記載報告)

3. 地域交流と社会参加の場づくり

長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で運動会、敬老会、町内外サークル慰問等によ

る地域交流社会参加の場づくりが出来ておりません。

4. 広報活動

広報活動やご家族とのコミュニケーションの活性化のため、今後、広報活動として新たにホームページを新調し、情報発信活用を行う予定にしております。

また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことに伴い、毎日の直接面会を再開し、入所様とご家族様のコミュニケーションをサポートし、家族間の交流が継続できるよう心掛けています。またご家族との外出の機会も増えております。

担当介護員からの年賀状等を送付しました。

5. 防災活動

避難訓練(3月26日 夜間想定で実施)

6. 感染症対策

入居者職員の感染予防対策として、年に1回の胸部レントゲン撮影、インフルエンザの予防接種、コロナワクチン接種3回を行い日々の手洗いや嗽の励行、入居者の口腔ケアに努めました。また、感染症予防対策委員会では佐賀県からのクラスター発生時の応援体制、ガウンテクニックについての動画を視聴し、常に危機感をもち基本的な感染対策を行っていく事の大切さを学びました。

手洗いについて十分行われているか、保健所より手洗いチェッカーを借用し、各自洗い残しがないかの確認を行いました。

食事前の手拭き、消毒の徹底や食後に新しいお絞りを提供し清潔保持にも努めました。

インフルエンザ感染予防、新型コロナウイルス感染症の予防の為、マスク着用、職員通用口の自動体温測定計の設置、手指消毒を行いました。

清潔と不潔の混合について手順や改善策をマニュアル化していきました。

7. 事故防止対策

週ごとに事故防止委員で発生項目を確認し、3ヶ月ごとにヒヤリハット・事故報告書の集計を行い、項目と対策について周知を行いました。

ヒヤリハットとしては立ち上がり・独歩・自力移乗等が多く上がっていました。場所としてはホーム・居室・食堂など日中過ごされる事が多い場所での発生が多く見られました。時間としては離床されている時間が多かったです。

事故としては、転倒・ずり落ち・皮膚剥離が多く発生しており、その他の項目としては誤食や異食・配膳間違いなどが上がっていました。転倒・ずり落ちについては日中・夜間共に発生が見られていました。転倒などについては以前より見守りの徹底や足元センサー、離床センサー、衝撃吸収マットなどを用いて事故の防止に努めてきましたが、日中の手薄な時間や夜間の少ない人員で対応している際などは、他の入居者の対応やコールの重なりなどで対応が遅れてしまい、事故に繋がってしまうという事が見られていたので、眠りスキャンやインカムなどの機器を導入し、今まで以上に行動の早期把握と職員間での情報伝達を素早く行い、事故の予防に努めました。発生場所としては居室・ホール・トイレ・食堂等ヒヤリハット同様に過ごされている場所で、時間帯としては日中に多く発生していました。

事故発生に関しては完全になくすことは困難であると思われます。また、人員の不足など見守りの眼が届きにくくなっている事も考えられ、さらに介助が必要な方が増加されている事もあると思われます。しかし、適切な機器の使用とヒヤリハット、事故報告書等を活用し、日常のリスクの情報共有を行う事によって事故を予防していく事が重要であると思われます。今後も事故防止委員会を中心として情報の発信と予防対策を行っていき、予防と再発の防止に向けて取り組んでいきます。

8. 高齢者虐待防止対策

コロナ禍の為施設外の研修ができず年2回、施設内Web研修で虐待についての定義、虐待のもとになる不適切なケアについての理解、不適切なケアが起こりえる背景及びストレスについての理解を深めました。

また、不適切なケアについて学んだことが今どのような変化に繋がっているかアンケートを実施し、虐待に繋がらないように早期に検討を行いました。

9. 夢かなえについて

今年度はコロナ禍の為全面的に夢叶えの実施ができませんでした。

10. 家族との交流について

コロナ感染症が5類になったことにより、ガラス越しの面会から対面面接を会議室で行うよう緩和しました。

11. その他

令和6年度 実習、慰問、ボランティア、受け入れ

7・8・10月 西九州短期大学部 3名(介護福祉士実習)

2・3月 佐賀女子短期大学 1名(介護福祉士実習)

ボランティアは敬老会(9月24日)時、歌のボランティアにお越しいただき、会場を盛り上げていただきました。(スタジオY・M)

特別養護老人ホームすみれ園利用実績

月	月間定床数	月間利用床数	月間入院者	利用率 (入院者含まず)	1日利用平均 (入院者含まず) 定員62名
4	1860床	1586 床	111人	84. 6%	49. 1 床
5	1922床	1601 床	124人	76. 8%	47. 6 床
6	1860床	1537 床	84人	78. 1%	48. 4 床
7	1922床	1662 床	159人	78. 1%	48. 4 床
8	1922床	1674 床	115人	81. 1%	50. 2 床
9	1860床	1672 床	64人	86. 4%	53. 6 床
10	1922床	1830 床	99人	90. 0%	55. 8 床
11	1860床	1732 床	127人	86. 2%	53. 5 床
12	1922床	1888 床	188人	88. 4%	60. 9 床
1	1922床	1809 床	138人	86. 9%	53. 9 床
2	1736床	1588 床	30人	89. 7%	55. 6 床
3	1922床	1798 床	39人	91. 5%	56. 7 床
平均	1885. 8床	1698. 0床	106. 5人	84. 3%	52. 8 床

特別養護老人ホームすみれ園(ショートステイ利用実績)

月	月間定床数	月間利用床数	利用率	1日利用平均 (定員8名)
4	240床	313 床	130. 4%	10. 4 床
5	248床	342 床	137. 9%	11. 0 床
6	240床	372 床	155. 0%	12. 4 床
7	248床	309 床	124. 6%	10. 0 床
8	248床	235 床	94. 8%	7. 6 床
9	240床	269 床	112. 1%	9. 0 床
10	248床	182 床	73. 4%	5. 9 床
11	240床	172 床	71. 4%	5. 7 床
12	248床	177 床	71. 7%	5. 7 床
1	248床	230 床	71. 4%	7. 4 床
2	224床	158 床	70. 5%	5. 6 床
3	248床	137 床	57. 1%	4. 4 床
平均	243. 3床	241. 3 床	99. 3%	7. 9 床

令和6年度 夢叶え実施状況

＊夢叶えを希望される方の大半は、外出(買い物、食事、自宅へ帰りたい)を要望されていましたが新型コロナウイルス感染拡大等あり希望にそえず実施することができませんでした。

令和6年度 年間行事

7月6日	七夕会(ゼリー・ジュース)
9月18日	喫茶(プリン)
9月24日	敬老会(百寿・白寿・米寿・最高齢者へプレゼント)
9月24日	敬老会お祝いの為慰問(歌手4名)
10月30日	誕生会(誕生者3名)
11月6日	おでん会
11月30日	誕生会(回転焼き・プリン)
12月28日	門松づくり
1月1日	お屠蘇会
1月26日	誕生会(誕生者11名)
2月1日	節分
2月15日	バレンタインデー(ロールケーキ・チョコプリン)
2月22日	誕生会(誕生者6名)
3月8日	ひな祭り(フルーチェ・果物)
3月29日	誕生会(誕生者4名)

すみれ園（医務）

令和6年度の入院者は累計 62 件（ショート利用者2名含む）で、うち 11 名は病院での継続治療が必要となり退所となられ、2名は入院中に死亡退園されました。

令和3年度から、当園での新型コロナウイルスワクチン接種も始まり、令和6年度も引き続き、第8回目の新型コロナウイルスワクチン接種されましたが、8月に 15 名、11～12 月で 30 名の施設利用者が新型コロナ感染症陽性となられました。引き続き、利用者様の健康管理、感染予防、感染対策に努めていきたいと思ひます。

・利用者の状態に応じた必要時のバイタル測定	
・利用者の体調不良、急変時の対応	
・健康診断 ホームと長期ショート利用者の結核健診(9/2、9/3)	年1回
ホームと長期利用者の血液による内科検診(5月)	年1回
体重測定	月1回
全職員の健康診断 夜勤者(9月、3月)	年2回
夜勤者以外(9月)	年1回
・リハビリ 音楽 生活リハビリの実施	毎日
・予防	
1 インフルエンザ	
予防接種の実施(ホーム入所者・ショート利用者・全職員)	
利用者のインフルエンザ罹患患者数 ホーム利用者	0名
ショート利用者	0名
職員の罹患による出勤停止者数	2名
職員のご家族(同居)が罹患し、予防薬で出勤	2名
2 嘔吐下痢症	
施設利用者による嘔吐下痢罹患患者数	
職員の罹患による出勤停止者数	0名
職員の家族による出勤停止者数	0名
3 その他の感染症による出勤停止者数	0名
施設利用者のコロナ感染症罹患患者数	45名
職員のコロナ感染症陽性者としての出勤停止者数	13名
4 職員の麻疹ワクチン接種	対象者なし
5 利用者の肺炎球菌ワクチン接種者数	0名

- ・入院者数
内科(50 件)整形外科(7件)精神科(3名)外科(2名) 計 62 件
- ・6年度の死亡者数 ホーム利用者 (11名)
ショート利用者 (1名)
- ・当園での看取り者数 (10名)

・入院治療希望、継続治療でのホーム退所者（11名）

・施設内研修

褥瘡予防研修会	年1回
---------	-----

褥瘡予防対策委員会	年3回
-----------	-----

感染症予防対策委員会	年3回
------------	-----

衛生管理委員会全体研修	年2回
-------------	-----

誤嚥・看護師不在時・夜間緊急時の研修	年1回
--------------------	-----

ターミナル研修	年1回
---------	-----

ケア連携研修	年1回
--------	-----

・施設外研修、WEB 研修	計16件
---------------	------

すみれ園（給食管理）

業務報告

1. 食事提供について

日清医療食品㈱(委託業者)と連携し、概ね安定した食事の提供をすることができました。献立内容については、給食委員会や日頃からの意見をもとに、委託担当者・調理員に繋げ、現地で改善できるものは対応に努めました。依然として人員・人材不足は続いているのでその都度調整・検討をします。

令和6年8月に台風の影響で食材の配送が中止となった日があり、1日献立を変更し提供しました。今後も自然災害は起きるものと考え、実践的に使用できる食材等を備えておく必要があります。

個別対応食として、個々人の身体状況に合った食事を看護師、介護員、栄養士の話し合いのもと提供しました。血液検査、体重測定等の結果のもと、栄養状態の思わしくなかった方、または食事摂取率が低下されている方には食事内容の見直しをし、必要に応じては栄養補助食品等で対応し栄養状態の改善に努めました。便秘の方に対してのオリゴ糖を使用した排便コントロールについても、引き続き多職種で取り組みました。

2. 調査について

入所者の個人別食事摂取調査を毎食後介護員、看護師等の協力のもと実施し、問題のある方については多職種と話し合い、改善出来るよう検討しました。

残菜調査については毎食後主食と副食に分けて計量し、記録しました。給食委員会、日頃からの各部署より意見を参考に、献立改善・変更に努めました。

3. 衛生について

厨房内の清潔は常に心がけ毎日の清掃、フード清掃、グリーストラップ清掃など努めました。また、毎月1回、大掃除の日を導入し普段清掃不足になる箇所の清掃ができるようにしました。

厨房内の水質検査は朝・夕(就業前と後)に実施し記録しました。

検便については、調理従事者は毎月1回実施し、その他の職員については食中毒予防と健康診断をかねて年4回(4・7・10・1月)実施しました。

※施設長・在宅ケアマネージャー・支援・事務職員の検便は4月、10月実施

4. 給食委員会

R6年度は、4月、6月、8月、10月、12月、2月に実施しました。

6、8、10月は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、書面回覧にて行い、10、12月は通常開催をしました。意見等については委託担当者に伝え、調理員とも話し合いをして改善に努めました。

3) デイサービスセンター すみれ園

2024年度の実績として、今年度の年間サービス実施日数は昨年度と変わらず311日で、今年度も自然災害や感染症のクラスター等の影響による急な営業休止は無く、予定通り営業することが出来ました。

しかし感染症による影響は多少あり、利用者の数名がコロナ感染症で長期間休まれる事もあり、また、併設の有料老人ホームの入居者も2名に発症がありました。感染症以外で入院された方も多く、長期入院や退院後自宅復帰出来ず施設入所もありました。死亡された方も昨年度より多く、年間の利用人数に影響があっています。延登録人員の定員30名×日数=9,330名(前年度9,330名)に対し、今年度の延実利用人員は、7,748名(前年度7,497名)と昨年度よりは多少増えたものの定員には程遠い状況でした。

利用率は、83.0%(前年度80.4%)であり、大きな変化はありませんでした。

収入面では、介護保険での収入は多少増えているものの、度重なる物価高騰の影響で、支出額は大幅に増加している状況です。

有料老人ホーム入居者については、毎年多少の入れ替わりはありますが、今年度は前年度より、入居率が高く安定していたようです。しかし、その分外部からの利用者の獲得率が思った以上に低く、中々新規利用者の獲得に繋がる事が出来ませんでした。近隣に同様の施設が増えており、年々外部の新規利用者の希望者が減り続けているのが現状です。

1日平均利用者も24.9名(前年度24.1名)月平均645.7名(前年度624.8名)と昨年とほぼ変化ありません。今年度の利用者の年齢は、60代後半から100歳を迎えられた方と年齢差に更に幅がありました。近年は60～70代の利用者の方も増えており、更に年齢に差が出て来ています。

総合事業対象者の利用については、年間通して3名であり、その方達も途中状態変化で区分変更されたり、入院したりとなかなか利用が安定しませんでした。

要介護者については、今年度も「介護度1」「介護度2」の方が、大半であり、「介護度3」以上の方については、昨年同様平均で3～4名程度でした。

介護度が重くなると、自宅や有料老人ホームでの生活が難しくなり、同時に通所介護の継続的利用も困難となるのは仕方が無い事だと思います。

要介護者の方で、介護度が軽い1や2の方でも状態に開きがあり、大半の方には見守りや付き添い介助が必要な方が多く、昨年同様利用人数は少ない割には一人一人に掛かる介護量は年々増えて来ています。

1日の過ごし方としては、感染症対策を行いながら日々の行事に対応して来ました。レクリエーションやバスハイクについては、コロナ禍前のように制限なく行う事が出来ました。ただ感染対策は怠る事無く、引き続き昨年同様行いました。年間通して少ない外出行事は、気分転換が出来る為、毎回利用者様には大変好評です。

午後のリハビリ体操は、例年通り行い、ほぼ毎日全員が参加されています。今後も内容がマンネリ化しないよう行って行きます。又今年度は看護師により個別で機能訓練を行う事ができており、来年度も繋げたいと思います。

体操後の時間はそれぞれ個人の希望で、対応しました。基本、手工芸が中心となりましたが、中には個別で趣味活動に対応する事も出来ました。

食事については、大きく変化する事は無く、利用者様の意見も悪くはないようでした。摂取状況は様々で、好き嫌いの問題だけではなく、体調、習慣で食べられなかったりと全量摂取される方とそうでない方の差も激しいようです。配膳の際乗せ忘れは今年度も目立っていました。箸やスプーンをはじめ、主食や主菜の乗せ忘れもありました。利用者様へ迷惑を掛ける事となる為、少しでもミスは少なくする必要があります。食事中に誤嚥される方への配慮も怠らず、見守りを続け大きな事に繋がる事はありませんでした。

入浴については、大きな浴槽は誰にでも好まれ、毎日大変好評でした。入浴では身体清潔に心掛け、皮膚状態の観察も行いました。浴後は主治医の処方に従い、貼り薬や塗り薬の対応も行いました。入浴は今後も当事業所の最大の売りとして行きたいと思います。入浴の稼働率が低いのは、昨年同様有料老人ホームの方をはじめ、外部の方でも毎日利用される方については、利用限度額の問題で1日置きの入浴となっています。

排泄についても昨年同様の対応を続けており、定時の声かけや個人の排泄パターンに応じ誘導も行っています。介助が必要な方については、最後まで付き添い交換等行います。排泄チェック表を用いて記録し、利用者一人一人の排泄周期を確認でき、便秘の改善にも取り組みました。

全体では、コロナ感染症やインフルエンザ等一時的な流行はあったものの、クラスターを起こす事無く営業出来た事は大変良かったと思います。レクリエーション活動やバスハイクも制限なく通常通り行えました。最近ではコロナ感染症に対する理解が深まり、マスク着用や換気、消毒への理解も益々深まって来ているようです。今後も気を抜く事なく感染対策は継続していきます。

職員については、今年度はコロナ感染症をはじめ他の感染症に罹患した職員はおらず、業務への支障もなく終えました。引き続き感染対策は徹底し、利用者や他の職員へ迷惑を掛けないように心掛けて行きます。

今年度も計画的なWEB研修を受け、職員の資質向上に役立てる事が出来ました。また、法改正に基づき、必要研修もしっかり受け、各委員会や業務継続計画についても理解を深め理解する事が出来ました。今後も利用者様へ統一したサービス提供が行えるよう、引き続き研修や学習、教育を行います。虐待や個人情報漏洩等決して無いよう、十分に配慮して行きます。

稼働率、収入共に昨年度よりやや増加したものの、支出については経費の面で物価高騰の影響が大きかったようです。来年度も更なる物価高騰が考えられる為、今以上に稼働率を上げ、収入面で増収に努めます。

令和5年度デイサービスすみれ園 保険外利用一覧

月	介護度	実人数	延人数	利用料	合 計
4月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
5月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
6月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
7月	要介護	0人	0人	0円	850円
	要支援	1人	1人	850円	
8月	要介護	1人	1人	850円	1, 700円
	要支援	1人	1人	850円	
9月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
10月	要介護	1人	1人	850円	850円
	要支援	0人	0人	0円	
11月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
12月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
1月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
2月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
3月	要介護	0人	0人	0円	0円
	要支援	0人	0人	0円	
合計	要介護	4人	4人	0円	
	要支援	2人	2人	0円	
	総 計	6人	6人	5, 100円	

令和6年度デイサービスセンターすみれ園 事業実施状況

実施月	利用		延登録		延利用		事業 対象 者	要支援		要支援		要介護		要介護		要介護		要介護		要介護		実利用 者計	利用率		1日		延入浴		入浴				
	回数		人数	人数				1		2		1		2		3		4		5			平均		人数		利用率						
4月分	26	回	780	名	583	名	0	名	1	名	1	名	14	名	12	名	4	名	0	名	1	名	33	名	74.7	%	22.4	名	331	名	56.8	%	体験1名含む
5月分	27	回	810	名	589	名	0	名	1	名	0	名	14	名	12	名	4	名	0	名	1	名	32	名	72.7	%	21.8	名	359	名	61.0	%	
6月分	25	回	750	名	604	名	0	名	1	名	0	名	15	名	11	名	5	名	1	名	1	名	34	名	80.5	%	24.2	名	341	名	56.5	%	
7月分	27	回	810	名	674	名	0	名	2	名	0	名	13	名	12	名	5	名	2	名	1	名	34	名	83.2	%	25.0	名	388	名	57.6	%	体験1名含む
8月分	27	回	810	名	662	名	0	名	2	名	0	名	14	名	12	名	5	名	2	名	1	名	36	名	81.7	%	24.5	名	378	名	57.1	%	体験2名含む
9月分	25	回	750	名	655	名	0	名	2	名	0	名	14	名	12	名	4	名	2	名	1	名	35	名	87.3	%	26.2	名	363	名	55.4	%	体験1名含む
10月分	27	回	810	名	790	名	0	名	1	名	0	名	16	名	13	名	4	名	1	名	1	名	36	名	97.5	%	29.3	名	406	名	51.4	%	体験1名含む
11月分	26	回	780	名	667	名	0	名	1	名	0	名	14	名	13	名	4	名	1	名	1	名	34	名	85.5	%	25.7	名	368	名	55.2	%	
12月分	26	回	780	名	690	名	0	名	1	名	0	名	14	名	12	名	4	名	1	名	1	名	33	名	88.5	%	26.5	名	380	名	55.1	%	
1月分	25	回	750	名	666	名	0	名	1	名	0	名	14	名	13	名	4	名	1	名	1	名	34	名	88.8	%	26.6	名	353	名	53.0	%	
2月分	24	回	720	名	569	名	0	名	0	名	0	名	14	名	11	名	3	名	1	名	1	名	30	名	79.0	%	23.7	名	294	名	51.7	%	
3月分	26	回	780	名	599	名	0	名	0	名	1	名	13	名	12	名	2	名	1	名	0	名	29	名	76.8	%	23.0	名	310	名	51.8	%	
計	311	回	9330	名	7748	名	0	名	13	名	2	名	169	名	145	名	48	名	13	名	11	名	401	名	－		－		4271	名	－		
平均	25.9	回	777.5	名	645.7	名	0.0	名	1.1	名	0.2	名	14.1	名	12.1	名	4.0	名	1.1	名	0.9	名	33	名	83.0	%	24.9	名	355.9	名	55.1	%	

4) ケアマネージメントサービスすみれ園

1. 認定調査

令和4年度より大字大町地区の認定調査を担当しています。3年毎に調査地区の変更があり令和7年度からは大字福母地区の調査を担当する予定です。年間の調査件数は、66件(県外や他広域の方を含む)、月平均5.5件となっています。昨年度は沖縄県うるま市や中部広域等からの調査依頼を受けました。県外や中部広域等の方は町内の住宅型有料老人ホーム等に入居されており、その数は少なくないようです。

昨年度の調査件数は平均6件でしたので調査数はほぼ変わりません。認定の有効期間は最短6ヶ月から最長36ヶ月でしたが、現在は最長48カ月まで延ばされた事もあり同じ方に複数回調査に行くことが減ったように感じています。令和6年度も令和5年度に引き続き、新型コロナウイルスの流行に波があり施設での感染の拡がりもあって面会が制限される場合も多く、住宅型有料老人ホームやグループホーム等に入居されている方の調査にご家族が立ち会うことが難しい状況は継続しています。

最近の認定結果は全体的に軽くなる傾向が続いています。軽快は喜ばしいことですが実際にサービスを減らすことになり不満を訴えられる方もおられます。調査員として丁寧な調査を心掛け、必要に応じて直接、サービスを提供されているヘルパー事業所や通所サービス事業所などへの聞き取りを行うなどしました。

4月	4	10月	6
5月	3	11月	3
6月	6	12月	8
7月	3	1月	5
8月	5	2月	6
9月	9	3月	8
合計	66	平均	5.5

2. 要介護認定者への支援

居宅サービス計画の作成(ケアマネジメント)にあたっては、利用者の生活状況や生活における課題を把握し、利用者の有する能力を最大限に活用しながら、自立支援を目指しました。サービス利用開始後は、毎月自宅で利用者及び家族と面談し、心身状態の把握やサービスが適切に実施されているか等を把握(モニタリング)し、状況に応じ3ヶ月から半年毎に評価及び心身状態の再確認(アセスメント)を行い、ケアプランの見直しを行っています。

介護保険の更新や区分変更申請を行った場合は主治医や各サービス提供事業者からの専門的な意見を聴取し充実したケアプランとなるよう心掛けています。また介護保険の更新や区分変更申請、新たなサービスの導入等を行う際には、ご本人及びご家族、サービス担当者が参加してのサービス担当者会議を開催し情報共有を図り、より良いサービスが提供できるよう取り組んでいます。

新型コロナウイルスの発生以降はモニタリングやサービス担当者会議の開催が制限されることも多かったのですが杵藤地区介護保険事務所からの指導もあり、出来る限り平常時に近づけるよう時期を見計らいながら実施しています。

令和6年度は新型コロナウイルスの感染拡大に加えインフルエンザの流行もあり住宅型有料老人ホームでのクラスター発生や利用者の家庭内感染もありました。家庭内感染の場合は定期的に電話連絡を行い状態把握に努めました。中には自宅療養中に急変された利用者もおられ、独居の方や老夫婦世帯など緊急時の対応が難しい方に対しては救急搬送の手配など臨機応変に対応を行いました。

令和6年度において新規で居宅サービス作成依頼(予防支援を含む)を受けた件数は36件となっています。令和6年度末までに居宅介護支援を終了した方が34名となっており、内訳として、特別養護老人ホーム入所13名、老人保健施設入所3名、長期入院4名、死亡13名、その他1名となっています。

新規利用の相談に対しては積極的に受け入れを行っていますが特別養護老人ホームへの入居待機のための2～3ヶ月の利用の方や末期がん等で状態が急変し支援が1～2ヶ月程度で終了した方もおられ、受け入れ数と終了数がほぼ同じとなっています。

令和6年度も職員3名体制で事業を行い、特定事業所加算Ⅲを取得しました。また入院時には医療機関に対し情報提供を行う事で入院時情報提供加算を取得しました。特定事業所加算及び入院時情報提供加算の取得により令和5年に比べ増益となりました。

・居宅サービス計画作成件数

	サービス計画 作成件数		サービス計画 作成件数
4月	68	10月	72
5月	72	11月	72
6月	73	12月	77
7月	71	1月	83
8月	68	2月	72
9月	71	3月	73
合計	872	平均	72.6

3. 要支援認定者への支援

要支援認定を受けた高齢者の介護予防支援については地域包括支援センターより委託を受け支援を行っています。支援の流れは要介護の方と変わりなく、毎月のモニタリングのための訪問、定期的な評価、見直しを行っています。

・介護予防サービス計画作成件数

	介護予防支援	予防ケア マネジメント		介護予防支援	予防ケア マネジメント
4月	6	2	10月	6	1
5月	5	2	11月	8	1
6月	6	2	12月	7	1
7月	6	2	1月	4	1
8月	6	2	2月	4	2
9月	6	1	3月	4	1
合計	69	18	平均	5.7	1.5

5) 在宅介護支援センターすみれ園

1. 配食サービス調査

大町町からの委託を受け、町内の65歳以上の配食サービスを希望する独居高齢者や高齢者世帯の方を訪問し、実態把握の調査を行っています。令和6度も大字大町地区の調査を担当しました。年間の調査件数は9件と多くはありません。

町の配食サービスは独居高齢者や高齢者世帯しか利用できないことから、ワタミのタクシヨクや生協のお弁当などを利用されている高齢者も少なくないようです。

・配食サービス調査

	調査件数		調査件数
4月	0	10月	2
5月	1	11月	0
6月	2	12月	0
7月	1	1月	1
8月	0	2月	0
9月	1	3月	1
合計	9	平均	0.75

2. 福祉車両及び車椅子貸与

要介護高齢者の外出支援、在宅生活維持の支援として、町内在住の要介護者を対象に車椅子に乗ったまま乗車できる福祉車両及び車椅子の貸し出しを行っています。

受診困難な方には訪問診療の導入されている方も増えており、車輛の貸し出しを希望される方は限定的ですが福祉車両を利用することで受診が継続できているとの声もあり今後も貸し出しは継続したいと思っています。

・福祉車両及び車椅子貸出件数(のべ人数)

	福祉車両	車椅子		福祉車両	車椅子
4月	2	0	10月	1	0
5月	1	0	11月	1	0
6月	2	0	12月	1	0
7月	2	0	1月	1	0
8月	1	0	2月	0	0
9月	1	0	3月	1	0
合計	14	0	月平均	1.2	0

6) ケアハウスすみれ園

令和6年度は、退居者数3名、入居者数4名で入居者の平均年齢は86.8歳であり前年比5.0歳増となりました。90歳以上の入居者が全体の約6割と高齢化が進んでおり、介護認定適用者は全体で9割以上を占めていますが、それぞれに適した必要な在宅福祉サービスを利用することで、日常生活に支障をきたすことなく生活が出来ました。

また、入居者の意見を踏まえ、安心して快適に生活できる環境づくりや、入居者のニーズに応じた生活支援、行事の工夫・改善により充実した生活が送れるようサービスの向上に努めました。

居室稼働率は年間を通して93.4%で、今後も退去後の空室期間を短くするために、地域包括支援センターや関係機関とも情報共有し、稼働率を上げていきたいと思っています。令和6年度中の入院者は、14名中延べ4名、ショートステイ利用が1名、退居された方の理由としては、加齢に伴い身体機能の低下や持病の悪化により介助が必要となられるなど、ケアハウスでの自立した生活が難しくなった為、併設特養のショートステイを利用されたり、当法人以外の施設へ転居されることもありました。入院に関しては、転倒による骨折や手術などがありました。また、入居者の体調の変化を見逃さない為にも、毎週一回の健康チェックを実施し、入居者の心身の状態観察、健康管理に努め家族、主治医、担当ケアマネージャーなど関係機関と密な連携に努めました。

ADLや認知機能低下の防止、体力維持向上を図るため、コロナ禍より実施してきた、いきいき100歳体操や健康体操は継続的に実施し、さらに施設内ボランティアとして清掃活動や洗濯物畳み、食事の準備・片づけ等のお手伝いを実施しました。また敷地内にある畑を利用して家庭菜園の充実を図り、季節の花や野菜の栽培に取り組み、収穫した野菜はお漬物やぬか漬けを作って食べたり入居者からも大変好評を頂けたため、今後も生きがいのある生活の場としての環境づくりに取り組みたいと思います。

また今年度は地域貢献活動として、中学生の職場体験実習の受け入れを行い、実際に入居者との会話を楽しんだり、一緒にレクリエーションに参加したりして福祉や介護という仕事への理解が深まったのではないかと思います。今回の職場体験を通して中学生たちが自分の将来を深く考え、新たな目標を見つけるきっかけになれば幸いです。

施設設備については、老朽化に伴い浴室の改修工事、及び温水ヒーター、ろ過装置の更新工事を実施しました。工事期間中は1カ月程浴室が使用できなかった為、併設の有料老人ホームの入浴室や近隣の温泉施設を利用できるように調整を行いました。入居者には事前に丁寧な説明を行うことで、トラブルや苦情なく、工事を実施することができました。今後入居者にとって、より良い生活環境を整えるよう努めていきたいと思います。

〈感染症対策〉

新型コロナ感染症については、感染状況に応じて制限を緩めながらも感染対策に取り組みしました。新型コロナウイルスワクチン接種に関しても希望者のみ実施しました。今年度の感染者は単発的に発生しましたが、入居者のご理解を得ながら居室隔離等の対策を取り、蔓延することなく終息しました。またインフルエンザについては、全国的にみても例年にない流行が見られましたが、コロナ禍で習慣化できたマスク着用、手指消毒、換気の徹底など感染対策に取り組みんだ結果、入居者、職員ともに感染者はありませんでした。

入居者状況(令和7年3月31日現在)

男 性	4名
女 性	10名
計	14名

男女別年齢構成

年 齢	男 性	女 性	計
60 ～ 64	1	0	1
65 ～ 69	0	0	0
70 ～ 74	1	0	1
75 ～ 79	1	0	1
80 ～ 84	1	0	1
85 ～ 89	0	2	2
90歳以上	0	8	8
計	4	10	14

入居者の介護度

自立:1名

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4	2	6	1	0	0	0

介護サービス利用人数(複数利用あり)

訪問介護	デイサービス	デイケア	福祉用具レンタル	合 計
7	0	4	7	18

居 室 稼 働 率

・退居は原則として月末

・年間を通しての稼働率:93.4%

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定 員 数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
入 居 者 数	13	13	14	14	13	11	11	12	14	14	14	14
新入居者数	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0
退 居 者 数	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
稼 働 率	92.8	92.8	100	100	92.8	78.5	78.5	85.7	100	100	100	100

※稼働率は入居者数14名で算出しています

年間行事については、定例のお茶会、誕生会を行い楽しんでいただき入居者間の親睦を深めることができました。バスハイクに関しては感染対策を行い、日用品の買い物その他、季節の花見学を実施でき気分転換を図ることが出来ました。

実 施 行 事 内 容

	行 事 内 容
4月	お茶会・セレクト弁当・バスハイク(つつじ見学)
5月	お茶会・誕生会・セレクト弁当・バスハイク(お買い物)
6月	お茶会・セレクト弁当・訪問カット・バスハイク(お買い物)
7月	お茶会・誕生会・セレクト弁当・バスハイク(買い物)
8月	お茶会・セレクト弁当・職場体験受入れ
9月	誕生会・敬老会・水質検査(レジオネラ)・セレクト弁当・訪問カット
10月	お茶会・セレクト弁当・バスハイク(お買い物)・収穫祭・避難訓練
11月	お茶会・誕生会・バスハイク(紅葉見学)・セレクト弁当
12月	クリスマス会・セレクト弁当・バスハイク・訪問カット・大掃除・餅つき大会
1月	お屠蘇会・新年会・誕生会・バスハイク(初詣)・セレクト弁当
2月	お茶会・セレクト弁当・バスハイク(買い物)
3月	お茶会・誕生会・水質検査(レジオネラ)・セレクト弁当・訪問カット

お茶会(1回/月) 誕生会(1回/2ヶ月) セレクト弁当(1回/月)
バスハイク(1回/月)※感染状況により実施 水質検査(2回/年)

今後も施設内に「持ち込まない」「広めない」よう基本的な感染対策を行いながら、体調、精神面の変化に留意し健康で安全な生活を送っていただけるように努めるとともに、個々の支援の必要性の見極め、家族、関係機関との細かな連携に努めます。

また、引き続きケアハウスの入居待機者、入居者を得るために関係機関と連携を図り、広報に努めていきます。

7) 有料老人ホームすみれ園

令和6年度の実績として、実入居者は240名(前年度208名)で月平均入居者数20.0人(前年度17.33人)で延入居者数は6,668名(前年度6,037名)と月平均では、555.6名(前年度503.1名)と昨年度より増加がみられました。

今年度も実入院者は9名で、一度の入院が月をまたぎ長期化する事も多くありました。その中で退院後、有料老人ホームへ復帰されたのは6名ですが、昨年同様しばらくして又再入院された方もおられました。最終的には完全復帰された方は3名であり、その他の方は、入院が長引いたり、後に死亡された方もおられました。又有料老人ホームへの復帰が困難な方については、特養等への入居も幾例がありました。当有料老人ホームは、居室の形状により車椅子状態の方の受け入れが難しかったり、又夜勤者が一人と言う事もあり、退院後介護量が増える方や常時見守りが必要な方については、復帰が難しいようです。

令和6年度の入居者の平均年齢が88.1歳であり、昨年度とほぼ変化はありません。入居者の年齢は71歳～97歳と今年度も年齢層に大きな幅がありました。今年度は入居されても短期間で退居となられる方が多く、一人の入居がなかなか安定せず、例年に比べ入退所が多かったように思います。短い方では今年度も約3ヶ月間で退居されています。

入居者ほぼ全員の方が、何らかの疾患を抱えておられ、日々の体調の管理が重要であり、毎日のバイタル測定は欠かす事無く行いました。又殆どの入居者が軽度から重度の認知症の症状を患っておられ、入居者一人一人それぞれ違った症状に対応して来ました。今年度は夜間帯で緊急入院等は無く、夜間帯の状況は例年に比べ安定していたようです。入院については、同じ方が入退院を繰り返したり、一度入院したら長期化したり、他施設対象となられたりと有料老人ホームの生活を継続する事は中々難しいようです。

今年度は4月以降は19～21床とほぼ満床状態を保っており、幸い空床が目立つ事はありませんでした。有料老人ホームは介護保険制度外の為自費利用となっていますが、今年度は経済的な問題で退居される事例はなく、安定した入居に繋がったと思われます。

<感染症予防>

新型コロナウイルス感染症については、令和5年より5類扱いとなっていますが、現在でもマスク着用、アルコール消毒、換気等は継続しており、出来るだけの予防対策は行いました。しかしコロナ感染症については、当有料老人ホームでは2例目となる感染者を出してしまいました。幸いクラスターは起こらず入居者2名の感染で抑える事が出来ました。インフルエンザも1例発生しましたが、他に広がる事無く終えました。今後も油断する事なく、感染予防対策は継続して行きます。面会については、昨年同様とし、時間は15分程度で面会室対応で行いました。来園度は周囲の状況を見ながら、徐々に居室での面会も検討して行きます。外出、外泊も本人様や家族様の要望に応じて対応出来ました。その外出、外泊で感染が起こる事はありませんでした。

<事故予防>

今年度も転倒事故は起こってしまいましたが、幸い骨折や裂傷等の入院となる事はありませんでした。有料老人ホームで安心して生活して頂くには、少しでも事故を防いで行かなければなりません。その為には、引き続き付き添い、見守りを重視し、誤嚥や転倒事故を防いで行きます。対策は今まで通り家族の同意を得た上でセンサーマットを使用する等も継続して行きます。

今後も巡回を怠らず、見守りを強化する事で、今以上に転倒事故を防いで行きます。誤嚥については、今年度も大きな事故に繋がる事はありませんでしたが、やはり、水分や固形物で少し咽る方はおられました。その都度、食事形態の見直しやトロミの有無や度合い等検討しました。今後も大きな課題の一つと思われます。

令和6年度入居者数と平均介護度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	18	21	21	20	21	21	20	19	19	20	19	21
平均 介護度	1.6	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	1.8	1.7	1.9	1.8	1.7	1.7

☆上記は全て月末時点の状況

令和6年度入居者の入所前の状況

- ① 家族構成 入所前独居者……18% 入所前家族と同居……82%
- ② 入所前の状況 病院からの入所…10% 施設からの入所…45%
- 自宅からの入所…45%

入居者の在宅サービス利用状況

デイサービス利用.....95.0%	訪問介護サービス利用.....0%
訪問リハビリ利用.....0%	福祉用具貸与.....5%

令和6年度入所状況

月	入所者数	介護度
4月	1名	要介護1
5月	3名	要介護1 2
6月	1名	要介護2
8月	2名	要介護1 2
9月	1名	要介護1
12月	1名	要介護1
1月	1名	要介護2
3月	1名	要介護1

〈入所理由〉

- ・認知症の進行により在宅生活を続けることが難しいと家族が判断した(5名)
- ・身心の低下により在宅生活を続けることが難しいと家族が判断した(1名)
- ・身心は改善にするが、自宅では不安な為他施設や病院から当施設へ入所となった。(5名)

令和6年度退所状況

5月	1名	要介護2
6月	1名	要介護2
7月	1名	要介護1
8月	1名	要介護3
9月	1名	要介護2
10月	1名	要介護3
11月	1名	要介護2
1月	1名	要介護3
3月	1名	要介護1

退所者数は9名、平均入所月数期間は14.4ヶ月だった

〈退所理由〉

- ・身心の機能の低下により、特老や他施設への入所となった。(4名)
- ・専門的な病院での治療が必要となり退所となった(5名)